




学校だより

12月 

令和4年11月25日
横浜市立本宿小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku/>

「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」

校長 松比良 聡夫

11月は全学年で校外学習や体験活動、出前授業等を多く実施することができ、子どもたちの生き生きとした笑顔がたくさん見られました。今後も11月28日からの4年生愛川宿泊体験学習と、30日からの6年生日光修学旅行が予定されており、子どもたちが友達と協力して活躍し、成長する場にできるよう準備を進めています。

先日、神奈川県教育委員会から令和3年度の不登校と、いじめ件数が過去最多になったと発表されました。新型コロナウイルス感染拡大により、過去3年間対人接触を控える必要があったことなどから子ども同士の関係づくりが難しく、行事の縮小や削減などの活動制限もあり、「子どもによっては学校に行く気になれなかったり、ストレスによるいじめにつながっている可能性はある」としています。社会全体のリモート化や在宅勤務が進んでいること等も、子どもにとって「なぜ学校にいかねばならないのか?」という疑問につながっているのかもしれない。

学校が子どもにとって魅力あふれる場、成長できる場所として、必要感を感じられるように、カリキュラムの改善や教師力の向上も喫緊の課題です。前述の校外学習や体験活動等は、各学年の担当が子どもたちの笑顔を思い浮かべながら計画・運営しました。

教師力の向上の面でも、11月には2回大きな研修を行いました。旭区では3年ぶりに小学校教員の一斉授業研究会を行い、各教員が専門教科の授業を参観した後に研究協議会を行いました。本校では特別活動の研究会を行い、話合いの授業を公開して研究協議をしました。感染対策に配慮してリモート公開も交え、特別活動研究会の教職員が他校からも参加しました。

本宿中学校の教職員との研修会も行いました。中学校の教職員に本校の授業を観てもらい、放課後に研修会を行いました。教育委員会からも2名の指導主事を講師として招き、授業力や人権感覚の向上のために、両校の職員で切磋琢磨する時間となりました。

12月は人権月間です。子どもたちが、意見の異なる他者とも相互理解に努め、同じ目標に向かって協働する楽しさを学べるように取り組んで参ります。私たち職員も「自分から進んで(主体性)」と「みんなちがって、みんないい(多様性の尊重)」に率先して励んで参ります。

「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」という、アフリカのことわざがあるそうです。遠くをめざして、手を取り合って歩み続けていきたいと思えます。今後とも、ご理解ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

